

日本の中堅・中小メーカーが、大手の系列や下請工場であったり、大手商社依存の企業が多くを占める中、自社開発・自社ブランド・自社製造の製品を、自社の営業ネットワークで全国的に販売展開する独立系企業として、従業員の高いモラルと高収益性を実現されています。



1号線沿いにある本社と工場が一体化した建物

## 自社ブランドによる販路の拡大

(株)創味食品は、昭和24年に創業され、本所には昭和30年に加入、54年の永年継続会員です。主に業務用市場での調味料を販売されており、特に和風だしや中華スープに強く、ラーメン専門のチェーン店などに多く使われています。売上割合は、7割が業務用市場、3割が市販用市場となっています。既に大手スーパーの店頭において、「プロも認める贅沢な味」として定番化されていますが、今後は通販市場にも力を入れる計画です。



山田社長(左)と平井部会長(右)。  
事業場の労働時間を積極的に短縮するよう努め、他の事業場の模範となり活力あるゆとり創造社会の実現に大きく寄与するものとして「ゆとり創造賞 優秀賞」を受賞しました。

こんにちは!  
〇〇部会です

部会長の部会員訪問  
食品・名産部会編

厳選された素材と  
永年培われた技術が生み出す  
「味の芸術品」

株式会社創味食品

会員との“つながり”拡充を目的に、本所の12部会の部会長が部会員の皆さまを訪問いたしております。第6回目となる今回は、食品・名産部会の平井部会長が株式会社創味食品を訪問して山田亮社長からお話を伺いました。

## 『積小為大』安定的な成長に向けて

企業が社会に大きな影響を持つようになり、企業の社会的責任あるいは社会的貢献をその経営方針に据える企業が多くなると、(株)創味食品は、販売先や仕入先等の取引先、従業員とその家族が、企業活動によってより豊かになり満足を得ることを経営の目的としておられます。そしてこの目的達成のためには、適正な利益率を維持しながら安定的に成長し続けることが一番重要だと考えておられます。

その中で、「当社の社是は、二宮尊徳の言葉である『積小為大』を掲げている。これは、一歩一歩地道に積み重ねていくことが重要だ」という意味で、社内各所に戒めの言葉として提示している」と山田社長。平井部会長は、「社是には、それぞれ社長の考えや思いが詰まっている。40年間売上を確実に伸ばし続けてこられたところからも、社長の思いが社内に浸透していることが伺える」とコメントしました。

## 建設産業部会のご紹介

〈部会長〉平井 義久(株式会社西利 代表取締役会長)  
〈部会員数〉1,218件(平成24年3月22日)

食品・名産部会では、毎年、近年重要視されている課題をテーマにしたセミナー・講演会や、様々な施設やイベントの見学会を開催しています。また、部会員相互の交流を深めるために、「食のつどい」を開催するなど、部会員のメリットに繋がる事業を数多く行っております。

【食品・名産部会の年間事業予定】  
年2回(夏・秋)「セミナー・講演会」  
年1回(秋)「視察見学会」  
年1回(冬)「食のつどい」

【お問合せ】  
食品・名産部会事務局  
(京都商工会議所 産業振興部)  
TEL: 075-212-6453  
E-mail: shinkou@kyo.or.jp